

教育しが

滋賀県教育委員会

しが 滋賀 教育の日 11月1日

● 滋賀県の教育情報は…

滋賀県教育委員会

検索



もくじ

- 1面 特集 未来を拓く心豊かでたくましい人づくり「令和3年度の滋賀の教育」
- 2面 特集 新学年をスタートした子どもたち～不登校・行きしぶりのサイン～ご家庭で気をつけたいこと
 - 幼児教育 進級・進学季節です
 - すまいる・あくしよん 新型コロナウイルス感染症を知ろう！
 - 子どもたちの健全育成と社会的自立のため
 - 県と市町の新たな連携の取組がスタートします
 - 学校教育における文化財の活用
- 3面 人権教育 「ぼくの大切なもの」
 - 高等学校等の修学に利用できる支援制度をご案内します
 - 苗木のスクールステイ実施中！
 - つちっこプログラム
 - 読書活動 今回の「おすすめ本」
- 4面 情報コーナー 相談窓口 プレゼントコーナー

未来を拓く心豊かでたくましい人づくり ～人生100年を見据えた「共に生きる」滋賀の教育～

令和3年度の滋賀の教育

滋賀県では、「滋賀の教育大綱(第3期滋賀県教育振興基本計画)」に基づき、基本目標である「未来を拓く心豊かでたくましい人づくり」の実現に向けて様々な施策を進めています。ここでは、令和3年度に重点的に取り組む事業について紹介します。

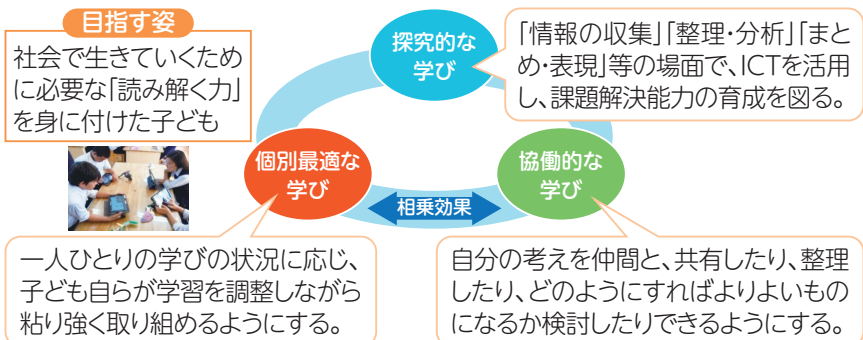
生きる力の育成を目指します!

「読み解く力」の育成 (ICTの活用)

昨年度に整備されたICT環境を活用し、「個別最適な学び」、「協働的な学び」、「探究的な学び」を深め、「読み解く力」の育成を進めます。



これまでの実践 × ICT活用 = 学びの質の向上

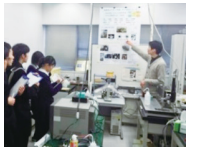


時代をリードする人材の育成を目指します!

アドバンスト・ラーニングコンソーシアム*の構築

● 学際融合・高大接続の学び

拠点校等となる高校が国内外の高校、大学、企業、国際機関等とコンソーシアムを構築し、協働してより高度で多様な学びの機会をつくります。



● 世界と協働する探究的な学び

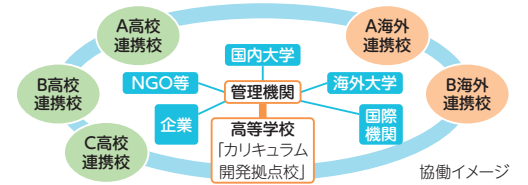
ICTを活用し世界中とオンラインでつながり、「持続可能な開発目標(SDGs)」など、グローバルな社会課題の解決に向けた探究的な学びに取り組みます。

● EdTech*を活用した学びの創造

個別最適化され、創造性を育む教育を目指し、EdTechなどを活用し、大学の授業の先取り履修など、興味・関心に応じて学べる環境を整備、開発します。



*コンソーシアム…互いに力を合わせて目的を達成しようとする組織や人の集団。共同事業体。
*EdTech…教育(Education)×テクノロジー(Technology)を組み合わせた造語。



図書館サービスの充実を図ります!

「知りたい」「学びたい」に応える図書館

■ 子どもたちが知や情報を得る機会を拡充

- ・学校図書館活用支援員を特別支援学校にも派遣
- ・県立高校等図書館横断検索システム導入(学校間で貸し借りや、生徒個人の端末からの検索)
- ・多言語の図書を整備し、外国にルーツを持つ子どもたちの読書活動を支援



子ども読書活動への支援

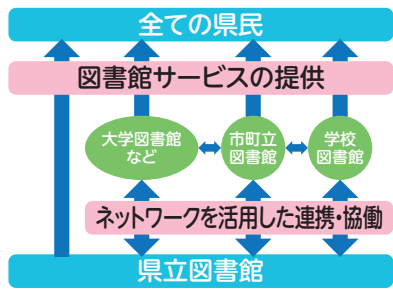
■ ICTを活用したサービスの充実

- ・デジタルアーカイブ*コンテンツ拡充
- ・市町図書館を通じて利用できるデータベースの整備

■ 読書バリアフリーを推進

- ・大活字本や朗読CDなどの資料整備を進めます。

*デジタルアーカイブ…ここでは、図書館所蔵の貴重資料(絵図や古文書等)を電子データ化し、保存・活用することをいいます。



社会を担う資質・能力を育みます!

主権者教育の充実

【学校や地域で課題解決に取り組む → 解決に向けた提案】



フィールドワークなどの地域調査



市役所や企業で発表

【研究成果の共有】



探究的な学習発表会

【各校の生徒会活動】



身の回りのテーマについて、生徒同士で協力しながら、主体的に考え実践

中学生

学びの深化

概念や理念の理解から考察、議論へ

【学校間の交流 → 活動の活性化】

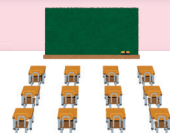
しが生徒会オンライン交流会
他の中学校と生徒会活動の交流・意見交換

社会の形成者として主体的に
参画しようとする資質・能力の育成

コロナ禍でも安心して学べる環境を整えます!

学びの機会の確保

子どもたちの「学びの保障」を支える人材を各学校へ配置します。



◆ 学習アシスタント

教員の教育活動を補助し、きめ細かな教育の実現をめざします。

◆ スクールサポートスタッフ

新型コロナウイルス感染症対策への対応や、学校の諸業務を支援して、教育環境を整えます。

◆ スクールカウンセラー

心理の専門的な知識や技術を活用し、子どもたちや保護者が抱える悩みを受け止め、学校におけるカウンセリング機能を充実させます。

◆ スクールソーシャルワーカー

福祉の専門的な知識や技術を活用し、家庭・学校・地域の関係機関をつなぎ、子どもたちを取り巻く問題の解決に向けて支援します。

更に詳しいことについては、こちらをご覧ください。



滋賀県の
予算について